

課題設定

ステージ1

ステージ2

ステージ3

身の回りの自然について知り、課題を発見しよう

- ◎身の回りの自然に関心をもつ
- ①「しぜんとともにくらそう」という言葉からイメージすることをイメージマップに書き出し自然に対するイメージを確認し、問いを立てる。
- 「身近な生き物はどのような暮らしをしているのだろうか」**
- ②身近な生き物はどのように暮らしているか考える。
- ◎身近な生き物の暮らし方についての情報を収集する
- ③身近な生き物はどのような暮らしをしているのか、ヤゴ救出大作戦や環境ビンゴ、生物を飼育したり、観察や図鑑等を活用したりして情報を収集する。
- ◎集めた情報を整理・分析する
- ④集めた情報を関連付け自分たちに何ができるか考える。
- ⑤集めた情報からヤゴの産卵場所の作成に必要な情報を吟味する。
- ⑥ヤゴお誘い装置を設計する。
- ◎まとめ・表現
- ⑦ヤゴお誘い装置を製作する。
- ⑧作品を学年で見合う。
- ⑨取り組みを振り返る。
- 「身近な生き物は生き物どうしや環境とかかわりながら暮らしている」**

人と身近な生き物とはどのようにかかわっているのか自分の考えをまとめよう

- ◎地域の自然にかかわる方から自然とのかかわり方について話を聞き、考えを深める
- ①身近な自然と人とがどのようにかかわっているか見直す。【屋敷林調査】
- ②学習計画を立てる。
- ◎自然とかかわっている方から話を聞き情報を集める
- ③農家、JA、専門家、区公園緑地課、環境ネットワークの方から生き物とのかかわり方について話を聞く。
- ◎集めた情報を整理・分析する
- ④インタビューした内容を課題と関連付けて整理する。
- ⑤自分の考えをまとめるために必要な情報を吟味する。
- ⑥人と生き物がよりよくくらするようになるための考えをつくる。
- ◎まとめ・表現
- ⑦人と生き物がよりよくくらするようになるために取り組む（すみかづくりなど）。
- ⑧を他校に発信する。
- ⑨取り組みを振り返る。
- 「身近な生き物は自然の中でかかわりあいながら暮らしていて、人の暮らしも関係がある」**

自然とともにくらすため、私たちにできることに取り組もう

- ◎これまでの取り組みをふり返り、どのように自然とかかわるかについて計画を立てる
- ①これまでの取り組みを振り返る。
- ②自分たちにできることはないか考える。
- 「人と生き物がよりよくくらするような環境をつくろう」**
- ◎校内の生き物について自分たちに何ができるか、図書館等で情報を集めたり、専門家から話を聞いたりする
- ③必要な情報を収集する。
(本、図鑑、インターネット、インタビュー等)
- ◎選んだ生き物に対して自分たちにできることについて、調べた情報を整理する
- ④調べた情報を関連付けて考える。
- ⑤必要な情報を吟味する。
- ◎調べたことを比較したり、関係付けたりしながら自分ちができることについて考える(2時間)
- ⑥自分たちにできることを考える。
- ◎調べたことをもとに、人と生き物が暮らしやすい環境を作る
- ⑦それぞれの課題意識に沿って環境づくりに取り組む。
- ⑧学年でそれぞれの取り組みを発表する。
- ⑨活動を振り返る。

自然とともにくらすため考えたり取り組んだことをもとに、思いや願いを話し合い発信しよう

- ◎取り組んできたことから『わたしが考える「しぜんとともにくらす」ために大事なこと』を考える
- ①これまでの取り組みを振り返る。
- ②「しぜんとともにくらす」ために大事なことをとは何か考える。
- ◎報告会に向けて情報を収集する
- ③発表したい内容・方法について不足した情報などを収集する。
- ◎仲間と情報交換しながら調べた結果を整理する
- ④集めた情報を関係づけながら、情報どうしを関連付けて考える。
- ⑤目的に合った内容・方法になっているか、吟味する。
- ⑥発表の内容・方法について考える。
- ◎発表することをまとめ・表現する
- ⑦取り組んできたことから『わたしが考える「しぜんとともにくらす」ために大事なこと』をまとめる。
- ⑧ESD子供報告会で発信する。
- ⑨一年間の学習を振り返りまとめる。

相互性 多様性と共通性

責任感

理科 「自然観察をしよう」
「植物を育ち方」「ごん虫の育ち方」
◎昆虫の成長の過程や体のつくりを調べる活動を通して、主体的に問題を解決しようとする力や生物を愛護する態度を養う。
1. チョウやトンボの体のつくりを調べる。
2. いろいろな昆虫の育ち方を比べながら調べる。
社会 「わたしたちのまちのようす」
道徳 「ヌチヌグスーシ」生命の尊さ
「ツバメの赤ちゃん」自然愛護
国語 「きつづきの商売」
地域 すぎなみ環境ネットワーク

国語(図書) 図鑑の使い方を知る
国語じょうほう 引用するとき
理科 「ごん虫をそだてよう」理科「動物のすみか」
◎生物が生息している場所を比較しながら生物と環境のかかわりについて調べる活動を通して、観察・実験などに関する技能を身に付けるとともに、生物を愛護する態度を養う。
1. 見つけた動物がいた場所と他の動物がいた場所の様子を比べながら調べる。
道徳 ホタルの引っこし 自然愛護
地域 すぎなみ環境ネットワーク
造園業の方 区役所緑地課

国語 はんで意見をまとめよう
話し合い、考えをまとめる。インタビューによって調査する。
「食べ物のみみつ教えます」
比較分類の仕方、辞書の使い方を理解する。
「ありの行列」
科学的読み物を読み感想をもち、伝え合う。
しぜんの色 身近なしぜんの色
「農家の仕事」
道徳 「いたいたいいのち」生命の尊さ
地域 すぎなみ環境ネットワーク 専門家・研究者 JA
地域の農家の方 農業公園

交流 ユネスコスクールネットワーク
道徳 「ふるさといいところさがし」
伝統文化の尊重、国や強度を愛する態度
「おじいちゃんおばあちゃんみていてね」
生命の尊さ
国語 「伝わる言葉で表そう」
体験したことを報告する文章にまとめる。
「わたしたちの学校じまん」
グループで学校行事を紹介する発表を行う。
インタビューによって調査する。
地域 すぎなみ環境ネットワーク